

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 338

1986. 7. 22

福岡市東区箱崎 6 丁目 10 番 1 号
九州大学大型計算機センター
広報教育室 (TEL092-641-1101)
内線 2505

目 次

1. VSAM クラスタを作成するコマンド VSAMALC について	1
2. FLIST コマンドにおけるデータセット表示について	4
3. LOGON 時の支払コードの省略について	5
4. データセットのリネームについて	5
5. トークンカードリーダ代替機能の運用について	6
6. TSS 初級講習会の開催について	7
7. データベース トーマス・マン・ファイル / SIGMA 講習会の開催について	7
8. 文書処理システム ODM 講習会の延期について	8
9. 空調機保守に伴う計算サービスの一時停止について	8

1. VSAM クラスタを作成するコマンド VSAMALC について

8月4日(月)より、標記コマンドでVSAMクラスタを簡単に作成することができます。

VSAM (Virtual Storage Access Method) [1, 2] は、直接アクセス記憶装置と主記憶装置間のデータの転送を効率的に行うアクセス方式の1つで、ATFの辞書ファイル等に使用できます。

コマンドの入力形式は次のとおりです。

1) 入力形式

コマンド	オペランド
VSAMALC	VSAMクラスタ名 KEYS (キーの長さ 相対キー位置) [SPACE (初期値 [増分値])]] [RECSIZE (レコード長)] [VOLUME (MSSボリューム通し番号)]

2) 機能

VSAM編成のキー順データセット (KSDS) を作成する。

3) オペランドの説明

VSAMクラスタ名 : VSAM編成のデータセット名を指定する。

KEYS : キーの長さ、レコードの先頭からのキーの位置をバイト数で指定する。キーがレコードの先頭の場合は、相対キー位置をゼロと指定する。

SPACE : 確保するスペース量を指定する。値の単位はシリンダである。省略値はSPACE (1) で、最大SPACE (66 6) まで指定可能。

RECSIZE : レコード長を指定する。省略値は4089である。

VOLUME : MSSボリューム上に作成する場合に、そのボリューム通し番号を指定する。この場合には、予め、そのボリュームをALLOCATEコマンドでマウントしておく必要がある。省略時は、共用ボリューム上に作成される。

4) 使用例

共用ボリューム上にWORDというATFの単語帳ファイルを作成する。以下で下線を施した部分は入力箇所を示す。

READY

VSAMALC word KEYS(4 0) SP(4 2) RECS(2041)

・・・クラスタ名をword、キーの位置はレコードの先頭から4バイト、スペースは初期量4シリンダ、増分量2シリンダ、レコード長は2041バイトのVSAMクラスタを作成する。

DATA ALLOCATION STATUS FOR VOLUME PUB100 IS 0

INDEX ALLOCATION STATUS FOR VOLUME PUB100 IS 0

READY

ATF

・・・ATFコマンドの入力。

***** ATF (V10/L30) 86.08.04 12:00:00

WORDS DIC(word) NEW ADD(TANGO, DATA)

・・・TANGO, DATAという単語テキストファ

イルからWORDという単語帳を作成する。

(WORDSコマンドの使用法については参考文

(以下省略)

献〔3〕を参照してください。)

5) VSAMデータセットを使用する場合には、以下の点にご注意ください。

- ① VSAMALCコマンドでVSAMクラスタを作成すると、インデックス部のデータセットとデータ部のデータセットが自動的に作成されるが、これらの名前はVSAMクラスタ名、INDEXとVSAMクラスタ名、DATAとなる。なお、実際に利用する時はVSAMクラスタ名だけを指定すればよいので、利用者は特に意識する必要はない。例えば、消去する時はVSAMクラスタ名を指定すればインデックス部もデータ部も同時に消去される。

例)

DELETE VSAMクラスタ名

- ② VSAMクラスタは、センター側での自動的なバックアップができないため、カタログドブロンジヤ REPRO (バッチジョブ) で利用者自身がバックアップを行う必要がある。

MSSにバックアップするときのJCL例を以下に示す。

```
//ジョブ名 JOB CLASS=A
```

```
// EXEC REPRO
```

```
//IN DD DSN=VSAMクラスタ名, DISP=SHR
```

```
//OUT DD DSN=バックアップデータセット名, DISP=(NEW, CATLG),
```

```
// UNIT=MSS, SPACE=(CYL, (3, 2), RLSE), VOL=SER=MSSボリューム通し番号
```

```
//
```

- ③ MSSボリュームにVSAMクラスタを作成すると、'SYS1.VVDS.Vボリューム通し番号'という名前のデータセットが作成されるが、これはそのボリューム内のVSAMクラスタを管理するものなので、

消去してはいけない。

④ VSAMクラスタはFLISTコマンド (TSS/BTF) では表示できない。

参考文献

1. 計算機マニュアル FACOM OSIV/F4 MSP VSAM機能説明書
(78SP-1191-1), 富士通 (株) .
2. 計算機マニュアル FACOM OSIV/F4 MSP VSAM AMSコマンド文法書
(78SP-1211-1), 富士通 (株) .
3. 計算機マニュアル FACOM OSIV/F4 MSP ATF使用手引書
(78SP-7270-2), 富士通 (株) .

2. FLISTコマンドにおけるデータセット表示について

複数の登録番号を持つ利用者 (利用者番号6桁が同一であること) は, 以下のコマンドによって現セッションの支払いコードと異なる支払いコードのユーザのデータセット一覧を表示することができます.

形式)

%FList Account (支払いコード)

使用例)

支払いコードAでLOGONしたセッションで, 支払いコードKのユーザが所有しているデータセットを表示する.

%FL A (K)

3. LOGON時の支払コードの省略について

LOGONコマンドでユーザ登録名パラメタとして登録番号（利用者番号6桁＋支払コード1桁）を指定しますが、支払コード‘A’（校費）でセッション開設する場合に限り支払コードが省略できます。

使用例） 登録番号‘A70099A’でLOGONする例

```
LOGON TSS A70099 /パスワード
```

なお、このセッション中に作成されたデータセットのプレフィックス（先頭7文字）は‘A70099A’となる。

4. データセットのリネームについて

複数の登録番号を持つ利用者はRENAMEコマンドにより、支払コードの異なる他登録番号（利用者番号が同一であること）へのデータセットの移行が可能になりました。

利用例） 登録番号‘A70099A’と‘A70099K’を持つ利用者の例

```
LOGON TSS A70099A /パスワード
```

```
RENAME EX. FORT77 ‘A70099K. EX. FORT77’
```

上記の逆、即ち他登録番号のデータセットを、現セッションの登録番号のデータセットへRENAMEすることは禁止しています。

例えば、A70099Kで作成されたデータセットをA70099Aの利用者がRENAMEするには、従来通り、A70099Kのセッションでデータセットのアクセス権限を変更しておく必要があります。

使用例） 登録番号A70099Aにデータセット‘PRO. CNTL’のRENAMEを許可する

```
LOGON TSS A70099K /パスワード
```

```
PERMIT PRO. CNTL ID (A70099A) ACCESS (ALTER)
```

5. トークンカードリーダー代替機能の運用について

トークンカードリーダーの代替機能を作成しましたので運用を開始します。この機能は、専用コンソール（2階受付横：前トークンカードリーダー設置場所）から登録番号とパスワードを入力することにより、バッチジョブのデマンド出力要求を行うものです。

（使用法）

```

LL      P P P P P P P P      0 0 0 0 0 0 0 0      U U      U U      T T T T T T T T T T
LL      P P      P P      0 0      0 0      U U      U U      T T
LL      P P      P P      0 0      0 0      U U      U U      T T
LL      P P      P P      0 0      0 0      U U      U U      T T
LL      P P P P P P P P      0 0      0 0      U U      U U      T T
LL      P P      0 0      0 0      U U      U U      T T
LL      P P      0 0      0 0      U U      U U      T T
LLLLLLLLLLLL      P P      0 0 0 0 0 0 0 0      U U U U U U U U      T T

ENTER USERID ==> A71234A
ENTER PASSWORD ==> _____
    
```

画面 1

- 1) 画面 1 に登録番号とパスワード（非表示）を入力し **ENTER** キーを押下する。

```

          NO.  JOBNAME (JOB NO.)
-----
==> 0  1  A71234A1 (JOB0001)
==> 0  2  A71234A2 (JOB0002)
==> 0  3  A71234AA (JOB0003)
==> 0  4  A71234AZ (JOB0004)
==> 0  5  A71234A0 (JOB1111)
==> 0  6  A71234AC (JOB9123)
==> 0  7  A71234AG (JOB0035)
==> 0  8  A71234A9 (JOB5678)

                               ==> 0 : JOB OUTPUT
                               C : JOB CANCEL
                               H : JOB HOLD

                               REQUEST ==> ENTER
                               EXIT   ==> PF3
    
```

画面 2

- 1) 出力待ちのジョブ名一覧が表示される。この状態で **ENTER** キーを押下すると全ての出力待ちジョブが出力される。出力させたくないジョブや消去したいジョブがある場合はそのジョブ名の前に H（ホールド）や C（キャンセル）を指定して **ENTER** キーを押下する。

（業務掛 電（内）2516）

6. TSS初級講習会の開催について

標記講習会を下記の要領で開催いたします。受講希望者は、共同利用掛（電（内）2505）にお申し込みください。

なお、この講習会は、6月に行なわれたTSS初級講習会と同じ内容です。

記

- 日 時 8月5日（火）～6日（水） 10時～16時30分
- 対 象 TSS初心者
- 募集人員 50名
- 内 容 TSSを利用したプログラム、テキストの編集法、およびプログラムの実行など会話型処理の基本
- 会 場 大型計算機センター・多目的講習室（3階）
- 講 師 業務掛 川 寄 正 子
- テキスト センターで用意
- 時間割

	10:00	12:00	13:30	16:30
5日（火）	TSSの概要	昼 休 み	端末操作	プログラム・ データの編集、 実行

	10:00	12:00	13:30	16:30
6日（水）	実 習	昼 休 み	実 習	

* 6日の実習は、各受講者に1時間ずつ割り振られます。

- 申し込み期間 7月24日（木）～7月29日（火）
（なお、募集定員に達し次第締め切ります。）

7. データベース トーマス・マン・ファイル/SIGMA講習会の開催について

標記講習会を下記の要領で開催いたします。受講希望者は、共同利用掛（電（内）2505）にお申し込みください。

記

- 日 時 8月27日（水） 10時～16時30分
- 対 象 プログラミング未経験者
- 募集人員 30名
- 内 容 フィッシャー版トーマス・マン全集（全12巻）のすべてを収録したテキスト・データベース「トーマス・マン・ファイル」の利用法、および研究者向き情報システムSIGMAの活用法

- 会 場 大型計算機センター・多目的講習室（3階）
- 講 師 九州大学教養部独語科 樋口 忠治 教授
- テキスト センターで用意
- 時間割 10:00 12:00 13:30 16:30

利用法の基礎	昼 休 み	応 用	実 習
--------	-------------	-----	-----

- 申し込み期間 8月15日（金）（なお、募集定員に達し次第締め切ります。）

8. 文書処理システムODM講習会の延期について

7月に予定されていましたが文書処理システムODMの講習会は、10月下旬に予定変更になりましたので、お知らせします。

共同利用掛

9. 空調機保守に伴う計算サービスの一時停止について

8月13日（水）から8月16日（土）まで、空調機保守のため計算サービスを停止します。
 なお、8月18日（月）から平常どおり計算サービスを行います。